

スポット
ニュース

令和3年度 東濃地科学センター緊急時対応訓練を行いました

東濃地科学センターでは、事故災害等不測の事態が発生した際に迅速・的確に判断し行動できるよう、異常時を想定した緊急時対応訓練を年2回（上期・下期）実施しています。

今回は上期の訓練として、土岐地球年代学研究所において予定されている電気工事における負傷事故を想定した訓練を9月15日に実施しました。

訓練では、現地対策本部を立ち上げ、関係官庁や自治体等への通報連絡やテレビ会議による機構内関係部署との情報共有等を行い、緊急時対応の習熟を図りました。

センターでは今回の訓練で得た知見等を今後の緊急時対応等に活かし、引き続き安全最優先に事業を進めて参ります。



緊急時対応訓練

瑞浪超深地層研究所 地上施設の解体

瑞浪超深地層研究所の坑道の埋め戻しは、地表近くまで進んだことから、5月で埋め戻しを一旦終了し、地上施設の解体作業を行っております。9月3日に主立坑・換気立坑の防音ハウスの解体が完了し、現在、コンクリートプラントの解体を行っています。

引き続き、安全確保を第一に工事を進めて参ります。



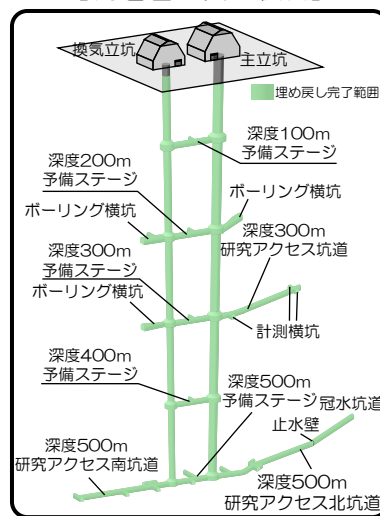
2021年8月20日撮影



2021年9月13日撮影

コンクリートプラント

【坑道埋め戻し状況】



10月の主な作業予定

- ①地上施設の解体作業
- ②坑内外設備の維持管理
- ③研究坑道内における応力計測（東濃地震科学研究所による施設供用）
- ④環境測定

【地下水の環境モニタリング調査】

	地下水の水圧・水質観測	地下水の水圧観測
瑞浪超深地層研究所	<ul style="list-style-type: none"> ◆地表（6孔） ◆深度100,200,300,400m予備ステージ（各1孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス南坑道（1孔） ◆換気立坑接続部（深度500,400,300,200,100m） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆深度300mボーリング横坑（換気立坑側2孔） ◆深度300m研究アクセス坑道（1孔） ◆深度500m研究アクセス北坑道（3孔）
正馬様用地	<ul style="list-style-type: none"> ◆地表（4孔） 	

【研究所周辺の環境影響調査】

- ・狭間川における流量観測、研究所周辺井戸での水位観測、研究用地周辺における騒音・振動調査、研究所周辺の環境管理測定、環境保全協定に基づく排水等の測定（放流先河川水の水質）

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排出水等の測定結果（令和3年8月分）

【採取日：河川水（令和3年8月5日）】

【単位：mg/L（水素イオン濃度はpH）】

測定項目	管理目標値※1	狭間川下流	参考値※2	狭間川上流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.3	—	7.1
浮遊物質量	25以下	2		2
カドミウム	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
全シアン	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.1未満)※4
鉛	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.02未満	0.05以下	0.02未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.01以下	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005以下	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
PCB	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4	検出されないこと※3	ND(0.0005未満)※4
トリクロロフル	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.01以下	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
ジクロロメ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
1,2-ジクロロメ	0.004以下	0.0004未満	0.004以下	0.0004未満
1,1,1-トリクロロメ	1以下	0.0005未満	1以下	0.0005未満
1,1,2-トリクロロメ	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
1,1-ジクロロフル	0.1以下	0.002未満	0.1以下	0.002未満
ジ-1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.04以下	0.004未満
1,3-ジクロロベン	0.002以下	0.0002未満	0.002以下	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.006以下	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.003以下	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.02以下	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.01以下	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.01以下	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.22	10以下	0.20
ふっ素	0.8以下	0.08	0.8以下	0.08未満
ほう素	1以下	0.02未満	1以下	0.02未満
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005未満	0.05以下	0.005未満

※1 環境基本法に定められた基準値以下で管理するため、同法の基準値を「管理目標値」として設定しています。

※2 狭間川上流は管理対象外であるため、環境基本法の基準値を「参考値」として表示しています。

※3 「検出されないこと」とは、測定項目ごとに定められた検定（測定）方法で測定した結果が当該検定方法の定量限界を下回ることを表します。

※4 「ND」とは目的の成分が検出できないほど微量か、またはゼロであることを表します。NDの後のカッコ内の数値は検出限界値を表します。

河川水の塩化物イオン濃度の測定結果(8月)

【採取日：週2回】

(単位：mg/L)

測定項目	狭間川上流	明世小学校前取水口
塩化物イオン濃度 ※カッコ内は月平均の値を示す (有効数字2桁 3桁目は切り捨て)	1.4～1.6 (1.6)	2.4～5.7 (3.8)

◆令和3年5月を以て「立坑の湧水」及び「工事排水」の測定が終了したことから、現在、狭間川の上流と明世小学校前取水口の河川水のみ測定を行っています。

地層研ニュースに関するご意見・ご要望 土岐地球年代学研究所見学のご質問・申込先

☎ 0572-53-0211（代表）

✉ tono-ck@jaea.go.jp（ご意見・ご要望）

☎ 0572-55-4114

連絡先：東濃地科学センター 総務・共生課 まで

〈見学のご案内〉

【見学可能日時】平日(月・水)9：00～12：00、13：30～16：00（詳細は右QRコードを参照）

【見学時間】1時間10分程度(東濃地科学センターの概要説明、分析室等の見学)

【対象年齢】小学4年生以上(小学生の方は、保護者同伴)

【見学人数】1団体4名以下(新型コロナウイルス感染症対策のため少人数での見学)

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、見学の受け入れを中止する場合がございます。
見学の開催等については、上記の連絡先(電話、メール)にお問い合わせください。



《見学案内HP》



原子力機構公式 Twitter
https://twitter.com/jaea_japan



原子力機構の Twitter では研究成果やイベント情報などをお知らせしています。

